

1月13日(木) 決行

13時～15時 西早稲田キャンパス6号館419号室

アサスポ

早稲田大学大学院法学研究科

水島朝穂研究室 (憲法研究) 公開授業

プロ野球選手とスト

講師：

「現場の声」を！

松原 徹

日本プロ野球選手会事務局長

「プロ野球選手の権利とストライキ選手会と日本野球機構を法的に診る」
今回のスト問題をめぐる法的論点は、一般に、プロ野球選手は労働者か、選手会は労働組合か、本件ストは「正当な目的」といえるか、の三点に見出される。
松原徹事務局長をお招きし、選手会の特殊事情と、今回の交渉およびスト権行使にあたり経験された「現場の声」をお聴きする。
憲法研究の一環、公開授業としては、プロ野球選手会固有の問題から、一般企業における労働者の地位、ストのあり方、労働組合内部の問題を考えるきっかけとなるだろう。

水島朝穂「『たかが選手』の投げたボール」

平和憲法のメッセージ「今週の直言」2004年9月27日

<http://www.asaho.com/>

松原徹「プロ野球の合併・1リーグ制への移行問題と勤労の権利」

法学館憲法研究所「今週の一言」2004年8月9日

I・M「プロ野球選手会のストライキ～プロ野球選手会と日本野球機構の問題を法的観点から診る」

法学館憲法研究所「憲法情報 Now <憲法関連裁判情報>」

<http://www.jicl.jp/>

武井寛「法律時評 プロ野球のストライキ」

法律時報 76 巻 12 号 1 頁以下 (2004 年)

対象：大学院生、学部生、一般

主催：早稲田大学大学院法学研究科水島朝穂研究室